

令和5年度

社会福祉法人安堵町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人

安堵町社会福祉協議会

## 令和5年度事業報告 概要

「誰もが主体的に参加、役割を持ちながら支え合う地域づくり」と、「住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指して、当協議会が担うべき地域福祉の推進において、令和5年度は、地域包括支援センター運営・介護予防事業・地域での支え合い活動の推進、生活困窮者支援、生活支援体制整備等を重点的に事業展開してきました。これにより、複雑化、深刻化する地域での福祉課題や生活課題の解決に向けて、各種関係機関、団体、行政と連携し、地域包括ケアシステムの深化において当会の役割を果たすため、より地域に密着した拠点となるよう努めました。

地域で安心して暮らしていくためには、様々な社会保障制度だけではなく、地域での支え合いやつながりづくりが重要です。制度では解決できない暮らしの中の困りごとや課題の解決に向け、ワンコイン支え合いサポーターやよりそい隊などのボランティアによる生活のちょっとした困りごとの支援を行ってきました。一方で、地域の助け合いのしくみづくりやサロン活動についても、支援を行ってきました。

また、5人に1人が認知症の時代と言われている中で、「認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくり」として、多くの住民に対して認知症の正しい理解を深めるためにサポーター養成講座を開催し、講座修了者を対象にさらにステップアップ講座を開催しました。

日本赤十字社資募金・赤い羽根共同募金等については、地域住民の皆様による活動へのご理解のもと、目標達成額に近づけることができました。

地域包括支援センターの運営については、独居、高齢世帯の増加、個別課題や地域での課題解決に向けて、専門職が様々な機関と連携し、地域での支え合いのネットワークを構築しながら支援を行いました。

### 事業実施状況

#### 【法人運営事業】

##### 1. 社協総務運営(庶務、経理、理事会、評議員会等の運営)

#### 理事会

第1回	令和5年5月30日(火)
第2回	令和6年3月19日(火)

## 評議員会

第1回	令和5年6月14日(水)
第2回	令和6年3月27日(水)

## 監事の監査

第1回	令和5年5月19日(金)
-----	--------------

## 評議員選任・解任委員会

第1回	令和5年5月30日(火)
-----	--------------

## 2. 広報・啓発活動

各地域での活動の紹介や、ボランティアの情報、社協の活動や情報の記載、地域包括支援センターの紹介等を掲載し、情報発信を行いました。

・社協広報誌「あんど社協だより」の発行

令和5年5月	96号
令和5年9月	97号
令和6年1月	98号

・ホームページ公開(<http://andoshakyo.com>)

## 3. 募金運動の推進

国内外の災害などに対する募金や日本赤十字社、共同募金会事業に対する募金活動の支援を行いました。

### 【地域福祉推進事業】

#### 1. 地域サロン活動の推進

各大字において行われている様々な自主活動は、体操やレクリエーション、お出かけ等、活動を再開できている地域と再開を見合わせている地域がありました。引き続き、地域でできる活動を各大字の皆様と一緒に考えていきます。

各サロン開催地域(休止や日時の変更あり)

サロン名	開催日	開催場所	参加人数
まほろばサロン(東安堵南)	第3木曜日	四弁花	約20名
西安堵ふれあいサロン	休止中	西安堵公民館	
下窪田ふれあいサロン	休止中	下窪田自治会館	
岡崎あすなろ会	毎月15日	岡崎公民館	約20名

笠目サロン	第3金曜日	笠目公民館	約20名
かしの木台日の出サロン	第4金曜日	かしの木台集会所	約15名
小泉苑いずみの会	第3木曜日	小泉苑公民館	約20名
柿の里いきいきサロン	第2金曜日	柿の里団地集会所	約15名
柿の里ダンディ	休止中	柿の里団地集会所	
若草の里サロン	月1回日曜日	若草の里集会所	約10名
窪田(上・東・北)わかばサロン	年1回日曜日	上窪田公民館	約20名
ほっとあんどサロン	第4火曜日	福祉保健センター	約20名
新法隆寺・興人サロン・ナデシコ	偶数月第1月曜日	福祉保健センター	約25名
あつみ台なでしこサロン	第3水曜日	交流館なでしこ	約20名

## 2. 生活困窮者への自立支援事業

緊急性を要する生活困窮者に対して、生活保護制度利用決定に至るまでの間に生活福祉資金の貸付へと繋いだり、その日、食べる物がないなどの場合は、食糧支援を行いました。また、もったいないを無くす活動として、フードバンク奈良より提供いただいた食材を生活にお困りの方や、地域の活動などへの提供を行いました。もったいないを無くす取組としてイシメン株式会社より提供を受け、食の支援を行いました。

生活福祉資金相談件数	12 件
生活福祉資金貸付件数	3 件
生活困窮者自立支援事業 (フードレスキュー支給)	0 件
食のたすけあい支援件数 個人	161 件
食のたすけあい支援件数 地域	11 件

## 3. 共同募金事業

10月より募金増強月間に全戸募金の協力を大字区長・自治会長、職域にお願いしました。また町内の各施設に募金箱を設置し、皆様のご協力により集まった下記の金額を共同募金会へ送金させていただきました。

目標額	490,000 円
実績額	494,739 円

## 4. 団体育成事業(関係機関及び各種団体との連携)

民生児童委員、安寿会連合会、赤十字奉仕団、町内ボランティア団体の活動推進、県やその他からの情報提供や助成金等の事務支援を行いました。

・民生児童委員協議会の年間活動の支援

年間事業内容	
定例委員会	12回
施設見学、研修	11回
生活福祉資金制度の支援協力	随時
独居高齢者調査の協力	随時
施設ボランティア実施の支援	11回
民生児童委員の日活動強化週間支援	1回
生駒郡連合会研修会への参加	3回

・安寿会の年間活動の支援

年間事業内容	
支部長・本部役員会	5回
町内美化運動	2回
菊花展	1回

・福祉団体育成事務支援

(福祉団体)

民生児童委員協議会・安寿会・安堵町赤十字奉仕団他

(ボランティア団体)

ネットあんど協働たい・手話サークル葉の会・運動普及ボランティア・おはなし会  
ねこじゃらし・更生保護女性会・安堵こども食堂・よりそい隊・支え愛サポーター他

(ボランティア活動支援・連携)

町内で活動されるボランティア活動について、保険加入の手続きや助成金の申請手続きなどの支援を行いました。

社協ボランティア保険加入件数	活動保険 16件
	行事保険 25件

5. 地域への貸与事業

① 車いす貸与

一時的に歩行が困難で、介護保険での車いす貸出しサービスが利用出来ない方を対象に、無償貸与を行いました。

貸出件数	10件
------	-----

② 3人乗り自転車貸与

子育て多子世帯の経済的な負担を軽減すること、及び外出機会の提供や社会参加による育児不安の解消を図ることを目的とし、3人乗り自転車の無償貸与を行いました。

貸出件数	1件
------	----

③ レクリエーション物品貸与

スカットボールや輪投げ、ラダーゲッター、ポップコーン機、わたがし機、プロジェクター等子ども会や地域活動等で活用していただけるよう、無償貸与を行いました。

貸出件数	12件
------	-----

6. 災害に対する活動

安堵町地域防災計画策定に伴う会議に出席しました。

安堵町防災会議	3回
---------	----

7. 日常生活自立支援事業

物忘れのある高齢者や生活に不安のある知的障害者あるいは精神障害をお持ちの方に対し、定期的に訪問して日常生活を支援しました。必要に応じて福祉サービスの情報提供等も行いながら自立した生活を送っていただけるよう努めました。

延相談件数	3件
利用件数	1件

8. 日赤募金事業

① 日本赤十字社員増強運動

5月の社員増強月間に全戸募金の協力を、大字区長・自治会長へお願いしました。また、町内の各施設等に募金箱の設置をお願いしました。

目標額	881,000円
実績額	714,123円

「日本赤十字社法人募金活動サポート」

日本赤十字社奈良県支部と安堵町赤十字奉仕団による企業・法人募金活動を行いました。

募金総額	180,000円
実施日	令和5年7月19日

② 献血活動事業の支援

町内で年2回実施する献血事業に対し、安堵町赤十字奉仕団と協力して広報、啓発活動を行いました。

実施日	令和5年8月30日
実施日	令和6年2月20日

### ③ 地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業

一日赤十字(令和5年10月14日)	43名参加
救急法基礎講習会(令和6年3月17日)	23名参加

## 9. 小口資金貸付事業

低所得者や生活困窮者等に貸付を行うことより、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

相談件数	10件
貸付件数	8件
寄付金受入件数	7件
寄付金受入総額	40,623円

## 10. 福祉サービス苦情解決

福祉サービス分野に「苦情解決のしくみ」を導入し、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者1名、第三者委員2名を配置し、ニーズの把握やサービスの質の向上に結びました。

苦情件数	0件
------	----

## 【受託事業】

### 1. 地域包括支援センター運営事業

地域包括支援センターは、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種がチームアプローチにより、住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として運営しています。高齢化が進み、独居、高齢世帯、認知症高齢者の増加が見込まれる中、要介護状態とならないため住民とともに自助、互助を活かした介護予防の取り組みや、介護が必要になっても住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みとして、多機関、多職種連携による体制づくりや地域資源を活用した仕組みづくりを行いました。

#### ・介護予防支援事業(介護予防サービス計画作成)

利用者(R6.3 実人数)	要支援者	62名
	事業対象者	29名

年間延利用者数	要支援者	727名
	事業対象者	374名
包括担当延べ件数	要支援者	47件
	事業対象者	43件
委託先延べ件数	要支援者	680件
	事業対象者	331件

・総合相談支援事業・権利擁護事業

相談内容・件数

介護に関すること	235件
権利擁護に関すること	57件
ケアマネジメント業務	266件
ケアマネジャー後方支援	143件
認知症に関すること	137件
障害に関すること	12件
入退院に関すること	133件
介護予防に関すること	70件
受診、身体的不調に関すること	96件
精神的不調に関すること	55件
生活支援に関すること	117件
その他	128件
総数	1,449件

・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

安堵カンファレンス	12回
生駒郡内介護支援専門員合同研修	4回

・介護予防ケアマネジメント事業

いきいき百歳体操	14ヵ所
地域サロンでの健康相談	随時

・地域ケア会議開催

困難事例会議	3回
自立支援型地域ケア会議	19回
自立支援型地域ケア会議(新規利用者延件数)	36件
自立支援型地域ケア会議(C型サービス利用者延件数)	10件



・在宅医療・介護連携推進事業

生駒郡地域ケア会議	3回
多職種勉強会	2回
市民公開講座(終活セミナー)	1回
生駒郡内在宅医療介護資源集作成会議	4回
退院調整ルールづくり事業 状況調査	1回
退院調整ルールづくり事業 担当者会議	3回
退院調整ルールづくり事業 全体会議	1回
西和メディケアフォーラム合同会議	2回
西和メディケアフォーラム事例検討会	1回
西和地域包括支援センター連絡会ケアマネジメント部会	6回

・認知症総合支援事業

認知症初期集中支援チームにて対応	0回
認知症サポーター養成講座(ステップアップ講座含む)	5回
キャラバンメイト連絡会	2回
見守り声かけ模擬訓練	1回
認知症ケアパスの活用	

① 認知症サポーター養成講座

実施日	参加人数	対象
令和5年7月7日	33人	安堵中学2年生
令和6年1月23日	42人	住民・商工会
ステップアップ講座		サポーター養成講座受講者
令和6年2月21日	12人	
3月14日	9人	
3月21日	11人	

② チームオレンジ安堵・オレンジかふえあんど

令和5年度のオレンジかふえあんどは、6月までは短縮して1時間の開催でしたが、7月からは通常通り1時間半の開催となりました。コロナウイルス感染症が5類となったこともあり、飲食も少しずつ行うようになり、毎月定期開催することができました。

オレンジかふえあんど

開催回数	12回
------	-----

また、チームオレンジ安堵の活動については2か月に1回会議で話し合いました。

#### チームオレンジ会議

開催回数	6回
------	----

#### ③認知症講演会

オレンジの会議内で防災の勉強をしたいとの声があり、防災についての認知症講演会を行いました。

実施日	参加人数
令和5年11月16日 『認知症から考える防災対策』	69人

#### ③本人・家族の一体的支援プログラム

認知症を持つ本人と、その家族を一体的に支援することで良好な家族関係を再構築することを目的とした一体的支援プログラムを実施しました。9月に1回目の話し合いを行い、本人と家族が共に活動する場として『あんど会』を開催しました。

開催回数	5回
------	----

## 2. 介護予防事業

### 「短期集中通所サービスC(総合事業)」

病気や骨折、入院などをきっかけに筋力や活動量の低下によって、以前は行えていた生活動作が困難となっている高齢者に対して、3か月間短期的にリハビリ専門職が介入し、機能回復を目指すことで自立した日常生活を取り戻していけるように、参加が必要な方への支援を実施しました。担当介護支援専門員と連携し、通所の初回、終了前の自立支援型地域ケア会議を通して多職種の助言をもとに自立支援に資するケアマネジメントの実施を支援しました。

実人数(R5.4～R6.3)	5人
実施回数	55回
事業委託先	奈良厚生会病院

### 「訪問型元気アップ」

身体機能低下により日常生活動作が困難になった方を対象に、3か月間集中的に自宅で動作指導や、栄養、口腔など予防について、自宅訪問の作業療法士に学びながら元の生活を取り戻す支援を実施しました。

実人数(R5.4～R6.3)	7人
実施回数	65回
事業委託先	コミュニティヘルスケア

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」

健康寿命の延伸に向けて医療保険と介護保険における予防と健康づくりを一体的に実施するもので、有病率の高い高齢者の早期発見、対応とともに重症化の予防、フレイル予防や介護予防、生活習慣予防について、健康福祉推進室と地域包括支援センターとで連携しながら取り組みました。健康状態不明瞭者を抽出(49名)し、対象者には、健康チェックの質問表とお元気ですかアンケートを送付しました。その中で返信の無い方や、ポピュレーションアプローチが必要な方へは個別訪問し、健診や受診勧奨、介護予防やフレイル予防の啓発を行いました。

個別訪問数	15名
モニタリング継続者	2名

「いきいき百歳体操」(地域介護予防活動支援事業)

自分の身体は自分で守るために、筋力アップ、柔軟、バランス感覚を鍛えることのできる、おもりを使った“いきいき百歳体操”を週に1回、地域住民さん自ら、集会所等で行う活動を支援しました。介護予防と同時に、地域の通いの場づくりへと繋がりました。

実施箇所数	14ヶ所	
参加人数	241名(延べ約7,422名)	
実施回数	約630回	
実施場所	かしの木台	毎週金曜日
	小泉苑	毎週水曜日
	柿の里	毎週金曜日
	四弁花(東安堵あくなみ)	毎週月曜日・木曜日
	笠目	毎週水曜日
	福祉保健センター	毎週金曜日
	若草の里	毎週土曜日
	上窪田	毎週木曜日
	あつみ台	毎週水曜日
	岡崎	毎週火曜日
	カルチャーセンター	毎週水曜日
	中窪田	毎週月曜日
	特養もちの木	休止中
	西安堵	毎週火曜日
下窪田	休止中	
あくなみ苑	毎週日曜日	

「リハ職派遣事業」(地域リハビリテーション活動支援事業)

リハビリテーションに関する専門職の視点を入れながら、高齢者の介護予防について、その有する能力の評価、改善の可能性などの助言を受けることで、高齢者の自立に向けたケアマネジメント支援を地域ケア会議において行いました。

実人数(R5.4～R6.3)	7人
延実施回数	41回

### 3. 生活支援体制整備事業

#### 「地域で支えるボランティアの活動」

##### ・よりそい隊

会議	12回
ボランティア加入者	6名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物支援(3回)</li> <li>・食のたすけあい支援(フードバンク)の仕分け(2回)</li> <li>・草引き(2回)</li> <li>・子ども食堂イベント支援(11回)</li> <li>・療育教室支援(1回)</li> </ul>

##### ・支え愛サポーター

生活のちょっとした困りごとをワンコインで支える生活支援サポーター養成講座をされた方々が支え愛サポーターとして活動をスタートしています。

会議	12回		
ボランティア加入者	サポーター11名 利用会員 40名		
活動実績	活動件数	211件	
	内訳	掃除	97件
		買い物代行	54件
		ゴミ出し(粗大ごみ含む)	1件
		草引き	25件
		整理整頓	1件
		病院の付き添い	0件
		電球交換	3件
		洗濯	1件
		手続き代行	1件
その他	28件		

「令和5年度 生活支援サポーター養成講座」を開催  
新規3名の方がワンコインサポーターとしてボランティアに登録していただきました。

参加人数	11名
登録者	3名
日時	11月
内容	ボランティアとは(講師:奈良県社協)

#### 4. 社会参加援助サービス事業

一人でも多くの方に参加いただき、聴覚障害者への理解と知識を学ぶことで交流を深め、障害を持った方への暮らしやすいまちづくりの推進のために、手話奉仕員養成講座を開催しました。

手話奉仕員養成講座(基礎課程)	全24回
修了証授与者数	2名

#### 5. 療育教室開催事業

心身の発達等について心配のある、4歳未満の幼児とその保護者を対象に、幼児の遊びを通して身体の発育や知的活動、情緒の安定、社会性の調和的な発達を促し、豊かに伸び行く可能性を引き出せるよう、指導員とともに月3回程度教室を開催しました。

月平均参加児数	2.1名
年間延人数	64名